

地域の皆様とのかかわり

リケンテクノスグループでは、地域社会との共生のために様々な取り組みを行い、事業活動へのご理解をいただいています。国内と海外での取り組みについてご紹介します。

国内での取り組み



環境への取り組み

埼玉工場



埼玉工場では、岡部駅までの線路沿いゴミ拾い(年2回)と、工場周辺ゴミ拾い(月1回)を行っています。

三重工場



かめやま会故(エコ)の森環境整備活動への協賛及び森林整備ボランティア活動へ参加しています。(年3回)

群馬工場



群馬工場では、安全パトロール時に工場周辺公道のゴミ拾いを行っています。(毎月)
また、太陽光発電により、再生可能エネルギーを使用しています。

進興電線株式会社



進興電線株式会社では、工場周辺の側溝を清掃しています。



東北復興支援物産展

一般社団法人希望の環による、東北復興物産展を開催しました。震災前の販路を失ってしまった生産者の方々から商品を購入することで、楽しみながら復興支援できるイベントです。販売員として産業能率大学の学生さんが来てくださり、生産者の方からは感謝状をいただきました。

本社



復幸缶詰(金華サバ味噌煮)



高校生による工場見学

地元高校生による工場見学会を毎年実施しています。



三重工場

2016年4月~

4月

5月

6月

7月

8月

9月



工場周辺の交通巡視

三重工場



毎年2回、工場周辺で安全速度・一時停止・シートベルト着用確認・通行禁止区間の確認などの交通巡視を行っています。



貢献



次世代



交流



環境



消火栓操法

埼玉工場



埼玉県深谷市
イメージキャラクター
「ふっかちゃん」

深谷市消防本部の「第三十三回自衛消防隊屋内消火栓操法指導会」に出場しました。女子チームが、4位入賞しました。



研究開発センター(東京)



自衛消防隊訓練審査会にて、研究開発センター自衛消防隊が、敢闘賞を受賞しました。



駅伝・マラソン大会

三重工場



亀山市駅伝大会への協賛及び参加を行いました。

埼玉工場



ふかやシティハーフマラソンへの協賛及び参加を行いました。



名古屋営業所

児童養護施設等へのクリスマスプレゼント

名古屋営業所を介し、市内の児童養護施設等の児童・生徒へ、クリスマスプレゼントとして寄付金をお送りしました。



近隣自治会の夏祭りへの協賛

埼玉工場



地域自治会の子ども神輿が、工場にやってきました。工場の守衛所前で休憩してもらったあと、記念写真を撮りました。

亀山市納涼大会への協賛及び参加

三重工場



企業の部へ参加し、フランクフルト、生ビールとともに、リケンファプロのラップを販売しました。



埼玉工場

三重工場

インターンシップ



未来を担う高校生のために職場体験・インターンシップを積極的に実施しています。埼玉工場・三重工場ともにフィルムの製造工程、および設備保全の実習などを体験していただきました。2017年1月に実施した埼玉工場での職場体験記をご紹介します。

埼玉工場 熊谷工業高等学校 電気科生徒代表

4日間のインターンシップの中で特に学んだことは、2つあります。
1つ目は普段受けている授業が重要だということです。モータの配線作業のとき、授業でやっていることを基本に、まだ授業でやっていない難しいことや、複雑なことをしました。いつもなげなく受けている授業ですが、今回のインターンシップを通して、今、受けている授業が将来とても大切なことだとわかりました。
2つ目は資格の重要性です。現場で働いている方々は、たくさんの資格を持っています。今のうちから沢山の資格を取るよう努められました。資格を持っていないとできない仕事が多すぎて多くあり、なるべく多くの資格を持っていたほうがいいとわかりました。
今回学んだことに、積極的に取り組んでいこうと思います。

▶ 海外での取り組み

海外での取り組みとして、米国のRIKEN ELASTOMERS CORPORATIONとインドネシア国のPT. RIKEN INDONESIAの取り組みをご紹介します。

役員メッセージ



リケンテクノス株式会社
 上席執行役員
 RIKEN AMERICAS
 CORPORATION 取締役社長 兼
 RIKEN ELASTOMERS
 CORPORATION 取締役社長
 しまた たかし
 島田 高志

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONは2006年設立以来、地域との密着に力を注いでおります。

地域の発展は人材の成長にもつながり、それにより企業もまた活性化します。この循環により健全な社会が維持されると考えています。

具体的には、ユナイテッドウェイという有名な慈善福祉団体への募金活動を会社及び従業員が行っております。また教育委員会のメンバーである従業員は、地域の学校を支えています。更には学生たちに企業の活動内容を教えるキャリアプログラムにも参加しています。

企業は人により成り立っていますので、地域への貢献は企業としてあるべき姿だと考えております。

▶ RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONの取り組み

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONでは、社員が様々な活動を通じて、地域社会に貢献しています。今回は、リンダ・ケラーさん、レキシー・ホワイトさんとローラ・トーマスさんの活動をご紹介します。

教育支援協会(パートナーズ イン エデュケーション)のプログラムへ参加

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONは、学校体制を支える教育支援協会(パートナーズ イン エデュケーション)のプログラムへ参加しています。社員であるリンダ・ケラーさんは、郡の教育委員会の委員を務めています。RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONは、地域の学校と連携し、個別指導、ボランティア活動、お金や物資の寄付、テストの手助け、読み聞かせ、その他色々な活動を通して、教育体制を支援する地域密着型の企業です。また、地元学生のための就職フェアに参加し、大学や就職準備活動を支援しています。



ペンブローク小学校の生徒に読み聞かせをするリンダ・ケラーさん(右)



本について生徒と意見交換をするレキシー・ホワイトさん



生徒から贈られたお礼の手紙

商工会議所より産業部門賞を受賞

2017年2月21日、RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONは、商工会議所より、産業部門賞を受賞しました。この賞は、地域で雇用創出やエコドライブに貢献した人を認定するものです。

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONのローラ・トーマスさん(左)と、南西ケンタッキーを拠点とするエコノミック・ディベロップメント・カウンセラー社ディレクターのリアナ・ウォレンスさん(右)



役員メッセージ



リケンテクノス株式会社
執行役員
PT. RIKEN INDONESIA 取締役社長
佐藤 敏幸

PT. RIKEN INDONESIA（通称：RAPINDO）は、ジャカルタの中心部より東へ約30kmのMM2100工業団地^{※1}に1995年に設立されました。創業当初より地域住民の皆様とのかかわりを大切にして、活動を行っております。主な活動として、毎年秋に行われる犠牲祭（ムスリムのお祭り、動物を生贄として捧げ祝う）には、牛、羊を寄付して周辺の村民とともに犠牲祭を行っております。また、周辺の村や孤児たちへの寄付を通じて、周囲の皆様との良好な関係を保っております。今年はMM2100工業団地へ協力して、マングローブの植樹作業にも参加しております。今後も地域の皆様へ貢献していきたいと思っております。

▶ PT. RIKEN INDONESIAの取り組み

MM2100工業団地主催の、ブガシ湾へのマングローブ植樹にPT. RIKEN INDONESIAのダダンさんが参加しました。今回は初めての参加です。植樹を行うにあたり、1,000本のマングローブの木を寄付しました。

Voice /



PT. RIKEN INDONESIA
人事部
ダダン イスカンダルさん

MM2100工業団地の事務所から車に4時間、船に1時間半乗り、植樹を行うパンタイバハギア村へ到着しました。川をボートで渡っている間、川の周辺でどのような生活が営まれているのかが見ることができました。いまだ多くの村人が、川の水を、公衆浴場や洗い場、トイレの水として利用する不便な生活を送っています。また、この村では、マングローブの森があった場所がエビの養殖所に変えられてしまい、森林の持つ貯水機能を失ってしまったことが、洪水の原因となっています。そのため、多くの村人が村を離れ、村がさらなる貧困に陥る原因となりました。

村へ到着すると、村人たちとLSM^{※2}が、マングローブの木の植え方と、養苗場の場所を教えてくださいました。植樹場所へ辿り着くには、深さ40cmもの泥沼がある湿地を通らなければならない、苦労しました。やっとの思いで植樹場所に到着し、村人の助けを借りながら、参加者全員で14,150本のマングローブの木を植えました。MM2100工業団地は、我々が植えたマングローブの樹は、いまでは水面から5cmのところまで成長したと知らせてくれました。

マングローブ植樹は、私にとってまったく初めての体験でした。私はとても楽しかったですし、我々の経済バランスを保つための環境保護の一助となれたことを光栄に思いました。

※1 MM2100工業団地：プカン地区において最もジャカルタから近い工業団地。
※2 LSM：Lembaga Swadaya Masyarakatの略。インドネシアの非政府組織。



植樹をしている様子



植樹場所へ向かう船に乗っている様子



参加者で記念写真

横断幕には、PT. RIKEN INDONESIAの社名も

▶ 次世代の応援

リケンテクノスは、次世代を応援するため、「夢らぼ」という番組を2015年4月より制作しています。番組でご紹介する学生たちは、皆エネルギーに満ち溢れ、高い志を持っています。彼らを突き動かすものは、何なのか？夢を抱くに至ったそのルーツとは何なのか？そこに迫っていきます。

彼らの夢は、まだ道半ばです。試行錯誤を繰り返しながら何とか進んでいく様は、まさに「夢の実験室」。

どんな未来を切り開いていくのか、彼らの活動から目が離せません。リケンテクノスは科学の力のチャレンジメーカーとして、これからも頑張る学生を応援します。



あしかり せいや
章刈 晟矢 さん

①夢らぼに出演しての感想
インタビュー形式で自身の今までの活動をお話できることは大変貴重な機会でした。放送を見てくれた関係者や友人からの反響もあり、自身の活動を発信することの大切さをこの機会に感じることができました。



②今の活動、今後の活動

食料問題の解決のために昆虫を飼料として活用するための研究開発に励んでいます。昆虫飼料は新しい飼料原料として養魚飼料や養鶏飼料としての活用が期待できます。特に現在、水産養殖において使われている魚粉という飼料原料は大変高騰しており、生産者の大きな悩みの種となっています。また魚粉は海の有限な小魚を粉末化したもので、持続的なものではありません。そこで経済的にも環境的にも持続可能な昆虫飼料でこれらの問題を解決することが私の夢です。「魚で魚を育てる」水産養殖の常識を昆虫科学の力で脱却させることを目指しています。今後はこれまで培ってきた研究の成果を実際にビジネスとして実用化することを進めていきます。自らが開発した昆虫飼料を水産養殖の生産者に活用してもらえるように今後も活動に励んでいきます。昆虫飼料を食べて育った安心な美味しい養殖魚を消費者に受け入れてもらう社会の実現にはまだまだ課題もありますが、夢の実現のために頑張ります。



におり ひなえ
新居 日南恵 さん

①夢らぼに出演しての感想
それぞれの分野で頑張っている同世代の皆さんに並んで、夢らぼに出させていただきとても嬉しく思っています。改めて自分自身の活動を振り返る機会となりました。放送後は、地方の方からも反響をいただきました。より多くの方に応援いただくことができたこと、とても嬉しく思っています。これからの未来を創っていく世代として、共に連携をしていきたいと思えます。今後もよりよい社会に向けて、自分自身にできることを精一杯積み重ねていきたいと、気が引き締まる思いがしました。



②今の活動、今後の活動



今後も「家族留学」をはじめとして、家族の幸せに貢献できる事業に取り組んでいきたいと思っています。家族留学は、若者が子育て中のご家庭を訪問し、子育て体験と対話を通して、多様なロールモデル

に出会うライフキャリアプログラムです。全国22の都道府県に広がっています。また、今後は企業との連携を拡大したいと考えています。2020年までに指導的地位に占める女性の割合を30パーセントにする目標があります。家族留学には、出産後も仕事を続け、発展させていきたいという意志を持った方が多く参加しています。そして、ロールモデルの不在により、就業継続に不安を抱えています。このような女性たちの活躍の場を作るためには、採用と育成において、企業側の様々なサポートが求められてくると思います。manmaでも、女性の活躍を後押しするために、当事者の声を反映した、女性活躍のためのプログラムや研修等を提供していきたいと思っています。

お二人の活動についてはこちらから

www.yume-lab.jp

今までに出演された学生の皆さん



#27: 干場 清裕
東京理科大学理工学部情報科学科 2年生

自分の作ったモノで誰かの人生を豊かしてみたい
誰かの人生を豊かしてみたい
誰かの人生を豊かしてみたい



#28: 星 賢人
東京大学大学院 情報学専攻 2年生

すべての「らぶ」が自分らしく輝ける社会を作りたい



#29: 清原 優太
東京大学経済学部経済学科 4年生

世界にみかんを広めたい



#30: 兼刈 颯矢
早稲田大学歯学部 4年生

安全な食事をより多くの人に届けたい



#31: 吉野 裕斗
名古屋大学教育学部附属高等学校 3年生

出会ったすべての人を「らぶ」に



#32: 水野 翔太
法政大学法学部政治学科 4年生

誰もが地元を好きと育える社会にしたい



#33: 川口 真実
慶應義塾大学看護医療学部 3年生

医療とエンタメを組み合わせて多くの人に幸せにしたい



#34: 木明 翔太郎
北海道大学法学部 4年生

全ての人が個性を活かせる社会に



#35: 山本 つばみ
大阪府立箕面高等学校国際科 3年生

次の世代のために世界をよくしたい



#36: 中村 大知
北海道大学教育学部 4年生

北海道を楽しく!!



#37: 井上 麗美
東京造形大学造形学部デザイン学科 2年生

自分の写真を通じて日本中の女の子に変化を与えたい



#38: 水谷 駿介
名城大学経営学部経営学科 1年生

自分の作ったイベントで一人でも多くの人が楽しませたい!



#39: 川口 巧
日本体育大学体育学部 3年生

心揺さぶる熱血教師になる



#40: 新居 日南恵
慶應義塾大学法学部政治学科 4年生

子育てが社会に開かれた環境をつくりたい



#41: 足立 壮太郎
青山学院大学理工学部 3年生

子どもたちの未来の可能性を広げたい



#42: 大澤 咲希
慶應義塾大学法学部 2年生

女子のスキで社会を幸せに



#43: 久保 直生
青山学院大学国際政治経済学部 3年生

より多くの人達に最高の体験を与えたい



#44: 寺島 笑花
横浜国立大学教育人間科学部 2年生

多くの人からたくさんの方の力を取りたい



#45: kirara
和歌山県立農林高等学校 1年生

和歌山を代表するプロミューシアンになる



#46: 小知 健吾
芝浦工業大学大学院工学研究科修士 1年

住んでいる人、1人1人に「好きな場所」がある、まちをつくる



#47: 武村 佳奈
大阪教育大学教育学部教員養成課程 3年生

社会課題をより多くの人に知ってもらいたい



#48: 小山 優輝
大阪府立箕面高等学校 3年生

日本中の10代の視野を広げるキッカケを作る



#49: 根来 みのり
千葉大学薬学部食料資源薬学専攻 3年生

飲食業界を覆った業界にする



#50: 芳村 賢士朗
日本大学理工学部 3年生

ラオスのコーヒーをもっと日本に広めたい



#51: 谷口 友望
東海大学 工学部航空宇宙学科 3年生

日本の宇宙開発を活性化させたい



#52: 矢澤 瑞季
明治薬科大学薬学部薬学科 4年生

自分自身が誇りに思える仕事につきたい

RIKEN TECHNOS Presents
— "チャレンジ"する学生の想いに迫る —
夢らぼ



“科学の力のチャレンジメーカー”
リケンテクノス株式会社は、
頑張る学生を
応援しています!

番組ナビゲーター 永田 レイナ 小貴 諒
夢らぼテーマソング「ゆめいる」小貴 諒

番組映像は公式HPで配信!
www.yume-lab.jp

毎週土曜 夕方6時55分 放送

